



悠久会 埼玉支部 会報

新潟大学 工学部 同窓会

(第7号)

発行：悠久会 埼玉支部

発行者：支部長 田中 光二 (応 40)

編集者：理事 五十嵐 春雄 (子 49)

発行日：平成 17年 5月 1日

悠久会 埼玉支部 総会(第11回)のご案内

拝啓 新緑の候、支部会員の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年度埼玉支部は、大きな節目である『10周年記念総会』を開催いたしました。皆様のご協力のおかげをもちまして、無事大好評のうちに終了することができましたことを、厚くお礼申し上げます。さて今年度の悠久会埼玉支部総会を、下記のとおり開催いたします。

当日は、母校・本部ならびに近隣支部から多数のご来賓を、お招きいたします。皆様に懐かしく楽しいひとときをお過ごしいただけるよう、役員一同勤めてまいります。

ご多忙とは存じますが、皆様お誘いあわせの上、多数ご参加いただきますようお願いいたします。尚、準備の都合上、5月20日(金)までに到着しますよう、同封の葉書にてご出欠のご連絡を頂きたくお願いいたします。

敬具

記

- 1、日時 平成17年6月11日(土) 12:00~16:00
- 2、会場 ラフレさいたま 5F「桃の間」
住所 さいたま市中央区新都心3番地2
電話 048-600-5505
交通 JR埼京線「北与野駅」 徒歩7分
JR京浜東北線・宇都宮線・高崎線
「さいたま新都心駅」 徒歩7分
- 3、式次第 総会 12:00~12:30
母校・本部近況紹介 他 12:30~13:00
懇親会 13:15~16:00
- 4、会費 8,000円
(但し、新卒会員の方は無料、
...ご招待とさせていただきます。)



尚、返信用葉書にはメールアドレスの欄がありますが、勤務先/ご自宅とも支部からのご案内を差上げても支障の無いアドレスをお書きください。(両方でもかまいません) 返信の宛先は、埼玉支部・常任理事(庶務担当)の 蒲谷 繁一さん(応 52)です。

支部年会費 納入のお願い

埼玉支部の年会費は2,000円です。支部総会の案内や会報の作成・印刷他、連絡費用等に充当します。同封の郵便振替用紙をご利用ください(通常払込料金無料)。健全な支部活動を継続するためにも、支部会員の証としてぜひご納入いただきますようお願いいたします。

埼玉支部は新たな10年目に向けて踏みだしました

悠久会埼玉支部長

田中 光二(応40)

お陰様で昨年、支部10周年記念総会を成功裡に無事開催できました。本年の第11回総会には、初めて来賓長谷川学長が来臨賜る由誠に光栄に存じます。埼玉支部は新たな次の10年目に向けて踏み出しました。東京支部から分派しよちよち歩きだった埼玉支部も、ようやく一人前になれた気持ちです。平成17年5月28日「愛知万博総会」が、東海支部主催で開かれる運びであります。埼玉支部は4年前、平成13年全国総会(新世紀・新都心・さいたま総会)開催、更に5年後の平成22年には第2回目の全国総会開催を目指しております。これも一重に、本部理事の先生方、近隣支部役員の方々を始め、支部会員の皆様方のご尽力と温かいご支援の賜物と感謝申し上げます。

さて、初代江森支部長より二代目職を引受けて本年で4年目です。昨年4月大学独立法人化以後の母校運営改革、全学同窓会連絡協議会発足、新潟大学東京事務所開設等の大きな変化が相次いで起こりました。「新潟大学科学技術交流悠久会館」80周年記念行事の建設事業は、本年最大のイベントです。埼玉支部としても、運営面に独自施策と組織強化を打出す必要に迫られております。昨年の10周年記念総会では、始めて首都圏同窓会の役員の方々にもご参加戴きました。悠久会としての独自活動は今後も続けて参りますが、全学的な活動は必然を迫られるでしょう。東京事務所の動きには支部の一員としても無関心ではおられません。第一回東京事務所の交流会(3/12)、呼応して首都圏同窓会2水会やHP <http://www.m3a-rikka.net/> 運営企画に目下関与しております。



首都圏同総会暑氣払いにて、左：長谷川学長(中央)と、右：大石2水会幹事(右から二人目)と。

近隣支部(東京、神奈川、千葉、栃木、群馬)との親交は、従来以上に密接な関係を維持します。ともすれば低迷凋落気味を指摘される全体活動を、近隣支部役員の方々と手を携えて共に支えながら、支部活動は「より楽しく愉快に広げて」参ります。何卒、倍旧のご支援賜りますようお願い申し上げます。首都圏同窓会では30数年前から、全学連携を先取りしてきたわけですから、誠に慧眼の至りというべきです。幸い支部10年間の活動で若い役員が育ち、同窓会の本質を見直さんとする動きが出て参りました。第11回総会以降は、支部長以下役員の若返りが計れるものと期待しております。

私事で恐縮ですが、本年2月に文芸社より拙著「奇妙な喫茶店」*)を上梓致しました。お陰様で、小説舞台の一部地域で予想外に拙著好評でWEBの反響にも驚いております。これを機に、遅ればせながら昔の雑文の所業を復活致すべく決意を新たに致しております。何卒私的な面からも、皆様のご鞭撻・ご薫陶賜れば幸いです。

更なる悠久会活動発展のために、公私両面から直言提案して参りたく存じます。最後に、埼玉支部会員諸兄の益々の職場や地域でのご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。

*) たなか踏基著「奇妙な喫茶店」序より引用

「いま社会の様相は明らかに別のものになっている。単線的目標設定の時代は終わり、もっと複雑で複線的な生き方が求められる。こういふとき桑原武夫の言葉『二束の草鞋くらい履けなくてどうする』は、まことに実的な意味を持つ。この言葉が意味する時代がいつの間にかやってきていたのである。どんな職業の、どんな人間であれ、生きていくためにはこれから草鞋は最低二束必要である。この二束の草鞋の意味をいま身に沁みてわれわれは知りつつあるのではないだろうか。」

悠久会埼玉支部の皆様へ

国立大学法人新潟大学学長

長谷川 彰

平成14年2月に学長を拝命して以来、3年が経過いたしました。この間、国立大学の法人化は本学設立以来の大事業でしたが、教職員一体となって取り組んだ結果、法人移行準備はとどこおりなく完了し、無事に平成16年4月を迎えることができました。法人化を機に、従来からの教育面と研究面での活動を見直し、抜本的な改革に取り組むとともに、第3の使命である社会貢献への体制づくりに着手し、より開かれた大学を目指してきました。

新潟大学は、9学部、5大学院研究科、1専門職大学院、1研究所、1附属病院など、数多くの組織を有するまでに発展しました。今では、世界的な研究教育拠点、超域的・学際的研究、高度専門職業人養成、幅広い職業人養成、芸術などの特定の専門分野、総合的な教養教育、生涯学習の機会提供、社会貢献機能など、様々な機能を備えるに至りました。これからは、多機能化の利点を活かして現代社会の多様な要請に、より幅広く応えていきたいと思っております。新潟大学は、将来にわたり、環日本海側地域における知の拠点としての役割を果たしていくことができると確信しております。

次第に競争的環境が形成されつつある中、新潟大学は積極的に新しい事業に取り組んでおります。その中で、工学部は、平成15年度の特徴ある大学教育プログラムに採択された実績をもとに、附属工学力教育センターを設置しました。また、脳研究所は同年度の21世紀COEプログラムに選定され、名実ともに世界に誇る研究拠点としての地位を固めました。さらに、全学的には、副専攻制度の導入をはじめ教育改善に力を入れています。工学部や脳研究所の躍進が刺激となり、全体の教育研究水準が向上していくことを期待しております。

去る3月21日、13市町村の合併により、2年後の本州日本海側初の政令指定都市を目指し、新しい新潟市が誕生しました。人口約80万人を擁し、広大な農地と豊かな自然に恵まれた田園型都市です。新潟大学は、様々な面で新・新潟市と連携し、地域社会や地域産業の発展を支援していくことができると考えております。新・新潟市とともに未来にわたる着実な発展を目指していきたいと思っております。

現在、新潟大学全学同窓会連絡協議会が中心となり、全学同窓会設立へ向けて着々と準備を進めていただいております。皆様のご尽力に心より感謝申し上げますとともに、やがて車の両輪の如く全学同窓会と新潟大学が密接に連携し、地域や世界の発展に貢献していきたいと願っております。

最後に、悠久会埼玉支部のますますのご発展を祈念いたしますとともに、今後とも新潟大学を力強くご支援くださいますよう、心よりお願い申し上げます。

新潟大学ホームページ <http://www.niigata-u.ac.jp/>

無名の歌人

新潟大学 前工学部長
長谷川 富市

志賀耿之という歌人はほとんど知られていない。彼は若い頃学生運動に参加し大学は無事卒業するが、十五年間企業に勤めた後、神経性病に罹り退職、その後生活保護を受けつつ現在に至る。今神経の病は癒えたが、肉体は糖尿病により片目喪失、心臓病のためバルーン挿入、肺の病、両脚切断、と病気の巣のような状態になりつつも歌を詠む。最近彼は密かに書き溜めた歌を纏め、古い同人誌仲間である私のところに送ってきた。その歌の幾つかを紹介する。

- ◇ 家産なく子なく妻なく職もなく五十路半ばを病みてゐるのみ
- ◇ ふきのとうかすかに苦きを噛みしめて天命いまだ尽きざる初春
- ◇ 罪々（ひひ）と降る雪に暮れ行く年の瀬にだまって死ぬる訳にはいかず
- ◇ しんしんと霜降る未明咳やまず肺腑に水の溜りあるらし
- ◇ その胸に鳥翔（た）たしめよ志いまだ鎖じざる隔離病棟

これらの歌に特別な解説は必要ないが、挫折故の無念さとそれでも純粋な意志をもって生き抜こうとする作者の思いが滲む。このような重い主題の他に清新な抒情歌もあり、以下に多少の解説を交えて紹介する。

- ◇ 乙女子が薄き緑に歯を染めて若葉喰み行く早苗田の道
少女が若葉を噛みつつ歯を薄い緑に染めて早苗田の道に行く。この若葉は何であろうか。そういえば昔の子供はスカシなどの葉を食べたものである。

- ◇ 裏山のねむの木やさし若きらがひそかに叛意はぐくむときも
裏山のねむの木に花がさいている、その近くで少年達がひそかに大人への叛乱心を育てている。ねむの木と少年。遠い日の思い出か。

- ◇ 髪黒き少女思ほゆ五月闇あやめわかたぬ花の盛りに
五月の闇の中にあやめが咲いている、花は満開のはずだが見えない。そこに作者は黒髪の少女を思っている。漆黒の闇から少女の黒髪への連想はどこかでみた覚えがあるがその中に菖蒲の花を咲かせた事は作者の独創であろう。見えないものを感じさせる優れた手法である。

- ◇ かすかなる震盪を見せて露草の雨滴緑にためたる葉末
細部にこだわって宇宙を描いた名品である。

- ◇ 緋にかすむ朧月夜の蓮華野の光る屍（むくろ）にありたきものを
朧月夜に赤い蓮華の花咲く野がかすみ、その中に自分の死体が光っている（そうあって欲しい）という意味。この歌には作者の矜持、絶望、憧れ、自愛、美意識が同居する。このような思いは人が人たる故に持たざるを得ないものであって、本歌はそれをきっちりと定型に載せてうたっている。志賀耿之の代表作といってよい。

長谷川富市（機41） 結社「短歌人」（設立：昭和14年4月 編集人：小池光）に東工大在学時代より参加
現在編集委員 歌集『玩具花火』（新潟日報出版社）

特別寄稿

工学部同窓会 悠久会理事長
内田 力

埼玉支部の皆様には益々ご健勝で活躍のこととお慶び申し上げます。そして支部活動が江森初代支部長から、楽しい会に、そして何より心から楽しんでと、活発に活動され、親睦を深められており、悠久会の原点の活動であると敬意を表します。

昨年は10周年にお招き頂き、楽しい、素晴らしい会で、ユニークな企画とミニコンサートと、そして悠久の友の披露と全員の合唱と楽しいひとときを過ごさせて頂き本当に有難うございました。悠久会の活動は正にこういう会だと感じ入りました。そして、今年の卒業祝賀会には貴支部の取り計らいでシガーソングライターの安原道子さんのミニライブが催され、一味違った祝賀会になりました。

また、80周年記念行事として、同窓の皆様、大学の先生方、企業から1億9千万円超の寄付を頂き、最後の事業の新潟大学科学技術悠久会館の建設がいよいよ始まります。完成の暁には是非皆様と喜びを分かち合いたいと思います。そして寄付を頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。

大学も独立行政法人として益々アイデンティティを強く求められております、今後の大学の発展と悠久会埼玉支部の発展、皆様のご健勝ご活躍を祈念させていただきます。



卒業祝賀会風景（写真左：内田理事長 祝辞挨拶）



（写真右：『悠久の友』を歌う仙石工学部長他）

悠久会時報「第107号」P32 平成16年度卒業祝賀会 新潟支部報告より以下引用

「今年度の祝宴では、初の試みとして『悠久の友』が安原道子さんの歌、鈴木厚志さんのピアノ伴奏によって披露され祝宴に彩りを添えました。」

***** 支部・編集子からのお知らせ *****

支部主催のイベントをご紹介します。

「ふれあい・さいたま ウォーキング」は、皆様のご賛同を頂き、この1年間で計2回の活動を行いました。

- 第8回：【04年初夏】 6月20日(日) 「子の権現と竹寺を訪ねる旅」
第9回：【02年秋】 9月12日(日) 「古き峠道・正丸峠を訪ねる旅」



第8回 子の権現にて



第9回 高畑山にて

今年度の悠久会・全国総会は、『愛知万博総会』です。

5月28日(土) 蒲郡商工会議所 & ホテル竹島

午後2時15分～講演会、午後3時30分～全国総会、午後7時～懇親会

もうお申し込みはお済ですか？ 詳しくは「時報第106,107号」をご覧ください。

(全学)首都圏同窓会では、毎月第2水曜日に定例の有志懇親会を行なっています。

新潟大学の卒業生であれば、学部・卒年を問わず誰でも参加でき、午後6時半頃から三々五々集まり、午後8時半頃用事のある人から抜けていく、そんな自由な集まりだそうです。第2水曜日に集まるから『二水会』、お店に入ったら『二水会』と告げていただければ案内してくれるそうです。

「鍋茶屋」 03-3232-1111 新宿区歌舞伎町2-45-4

西武新宿駅脇の道を線路に沿って新大久保方向へ徒歩3分 右側(歌舞伎町側)

あの新潟で有名な(学生には入れなかった)高級料亭と同じ名前ですね！

第2水曜日夕方に新宿付近へお出かけの際は、ぜひお立ち寄りください。

(参加費：5千円位) 詳しくは、東京支部・大石さん(精30)へお問い合わせください。

電子メールアドレス：ooishi@h3.dion.ne.jp

「悠久会ホームページ」

平成16年6月より新ホームページへ移行し、会への連絡、問合せ、HPへの掲載依頼等が可能になりました。更に、様々なグループ単位で電子掲示板とメーリングリストの設置が可能になりました。

ホームページアドレス：<http://www.yukyukai.net/>

お忙しい中、原稿を寄せていただきました、

長谷川学長・長谷川前工学部長・内田理事長 温かいお言葉を頂き、ありがとうございました。さらなるご活躍を、埼玉支部一同、ご祈念申し上げます。

6月11日(土) AM12時「ラフレさいたま」で、お待ちしております。